

アドビシステムズ社、2008 年会計年度および 同第 4 四半期における売上を発表

売上は前年比 13% の伸びを記録

【2009 年 12 月 17 日】

米国カリフォルニア州サンノゼ発（2008 年 12 月 16 日）Adobe Systems Incorporated（Nasdaq: ADBE）（本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビシステムズ社）は本日、2008 年度第 4 四半期（2008 年 8 月 30 日から 2008 年 11 月 28 日）および 2008 年会計年度（2007 年 12 月 1 日から 2008 年 11 月 28 日）の決算結果を発表しました。

2008 年度第 4 四半期の売上は 9 億 1,530 万米ドルで、四半期の売上として過去最高を記録しました。2007 年度の第 4 四半期は 9 億 1,120 万米ドルで、2008 年度の第 3 四半期は 8 億 8,730 万米ドルでした。同社の第 4 四半期の売上は、2008 年 12 月 3 日に事前発表した 9 億 1,200 万米ドルから 9 億 1,500 万米ドルという値を若干上回りました。

アドビシステムズ社の社長兼 CEO（最高経営責任者）であるシャントヌ ナラヤン（Shantanu Narayan）は、「2008 年は、厳しい経済環境にもかかわらず、売上は過去最高を記録し、6 年連続の 2 桁成長を達成しました。加えて、着実な業務遂行と徹底したコスト管理を通じて、目標を大きく上回る利益を上げることができました。2009 年は難しい 1 年になりそうですが、当社のビジネスを動かす長期的な市場動向を今後も前向きにとらえ、現在の景気後退をこれまで以上にたくましく乗り越えられると確信しています」と述べています。

2008 年会計年度で過去最高の売上を達成

本年度の売上は 35 億 8,000 万米ドルで、会計年度の売上として過去最高を記録しました。前年実績は 31 億 5,800 万米ドルでした。前年比では 13% の増加となり、年初に発表した売上の成長目標を達成しました。

本年度の「一般に公正妥当と認められた会計原則（GAAP）」ベース純利益は 8 億 7,180 万米ドルで、前年実績は 7 億 2,380 万米ドルでした。GAAP に基づかない Non-GAAP ベース純利益は 11 億 3,600 万米ドルで、前年実績は 9 億 6,580 万米ドルでした。

本年度の GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は 1.59 米ドルで、前年実績は 1.21 米ドルでした。本年度の Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益は 2.07 米ドルで、前年実績は 1.61 米ドルでした。

2008 年度第 4 四半期の GAAP に基づく（GAAP ベース）の業績

今四半期の GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益（EPS）は、期間中の加重平均発行済株式数 5 億 3,490 万株に対し、0.46 米ドルでした。前年同期は加重平均発行済株式数 5 億 8,790 万株に対し、EPS0.38 米ドルでした。2008 年度第 3 四半期は加重平均発行済株式数 5 億 4,130 万株に対し、EPS0.35 米ドルでした。

今四半期の GAAP ベース営業利益は 2 億 7,320 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 7,580 万米ドル、2008 年第 3 四半期実績は 2 億 1,950 万米ドルでした。今四半期の GAAP 上の営業利益率は 29.8% で、前年同期は 30.3%、2008 年度第 3 四半期が 24.7% でした。

今四半期の GAAP ベース純利益は 2 億 4,590 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 2,220 万米ドル、2008 年度第 3 四半期実績は 1 億 9,160 万米ドルでした。

2008 年度第 4 四半期の GAAP に基づかないベース (Non-GAAP ベース) の業績

今四半期の Non-GAAP ベース希薄化後 1 株当たり利益 (EPS) は 0.60 米ドルでした。前年同期の EPS は 0.49 米ドル、2008 年度第 3 四半期の EPS は 0.50 米ドルでした。

今四半期の Non-GAAP ベース営業利益は 3 億 7,490 万米ドルでした。前年同期実績は 3 億 6,220 万米ドル、2008 年第 3 四半期実績は 3 億 5,190 万米ドルでした。売上に対する Non-GAAP 上の営業利益率は、今四半期が 41.0% で、前年同期および 2008 年度第 3 四半期はいずれも 39.7% でした。

今四半期の Non-GAAP ベース純利益は 3 億 2,090 万米ドルでした。前年同期実績は 2 億 8,960 万米ドル、2008 年度第 3 四半期実績は 2 億 6,910 万米ドルでした。

2009 年度第 1 四半期の目標を発表

アドビ システムズ社は 2009 年度第 1 四半期の目標について、2008 年 12 月 3 日に発表した値に設定することを再確認しました。売上目標は 8 億米ドルから 8 億 5,000 万米ドル、GAAP ベース営業利益率目標は 26% から 28%、Non-GAAP ベース営業利益率目標は 37% から 38% です。

さらに、アドビ システムズ社は同社の発行済株式数について、2009 年度第 1 四半期は 5 億 3,000 万株から 5 億 3,400 万株を目標にしています。アドビ システムズ社はまた、営業外収益の目標を 300 万米ドルから 500 万米ドルの間としています。GAAP ベースと Non-GAAP ベースの実効税率は約 24% と予想しています。

これらの目標値に基づき、2009 年度第 1 四半期の希薄化後 1 株当たり利益の目標は、GAAP ベースで 0.30 米ドルから 0.35 米ドルの間、Non-GAAP ベースでは 0.43 米ドルから 0.47 米ドルの間と設定しています。

将来的観測の開示について

本プレスリリースは、実際の業績を大幅に異ならせる可能性のあるリスクと不確実性を内包した売上、営業収益、営業利益率、営業外収益、実効税率、株式数、1 株当たり利益、ビジネスの成長および長期的市場動向に関連する将来的観測を含みます。そのような原因となり得る要素として、以下が挙げられますが、必ずしもこれらに限られるものではありません。

- ・ アドビ システムズ社が事業をおこなっている主要地域での一般的な経済、政治的環境の不利な変化
- ・ 新製品、または既存製品の新しいバージョンに関して、顧客の要求に応える開発、市場投入、流通の失敗
- ・ 既存の、または新たな競合他社による新製品およびビジネスモデルの市場投入
- ・ 新たなビジネスモデルや新たな市場への移行の失敗

- ・ 新規事業からの売上予測の難しさ
- ・ 知的財産の取得、紛争、訴訟に伴う費用
- ・ アドビ システムズ社の知的財産を第三者による侵害、不正使用、不正開示、または悪意ある攻撃から保護できないこと
- ・ 過去および将来の買収において見込まれた利益の達成困難およびそれら買収先の統合の難航
- ・ 販売経路および流通経路の効果的な管理の失敗
- ・ 天災、大惨事による事業中断
- ・ 国際的な事業展開によるリスク
- ・ 外国為替相場の変動
- ・ 会計原則またはその解釈の変更
- ・ アドビ システムズ社の営業権または無形資産の減損
- ・ 税に関する法律と規則またはその解釈の予期せぬ変更
- ・ 主要な人材を集め、維持することができないこと
- ・ 資本市場がさらに悪化することによる投資ポートフォリオの減損
- ・ 株式投資に伴う市場リスク
- ・ 製造委託業者との取引関係の中断または解除

これらおよびその他のリスクと不確実性についての解説については、当社が証券取引委員会 (SEC) に提出した書類をご参照下さい。

本プレスリリースに記載された財務情報は現時点で得られる情報に基づく推定を反映したものです。これらの金額は、アドビ システムズ社が 2008 年度 (2007 年 12 月 1 日から 2008 年 11 月 28 日) について 2009 年 1 月中に提出予定の年次報告書 (Form10-K) に記載される実際の業績数値とは異なる場合があります。アドビ システムズ社はこれら将来的観測を更新する義務を負うものではありません。

アドビ システムズ社について

アドビ システムズ社は、時間や場所、利用するメディアや機器を問わず、あらゆるユーザーのアイデアや情報との関わり方に変革をもたらしています。アドビ システムズ 株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、Web サイト <http://www.adobe.com/jp> に掲載されています。